

初めての座禅で心身修養

建設の
社員
入社
樋下
新入

「後輩に頼られるように」 「仕事通じ自信つけたい」

盛岡市下太田に本社を置く樋下建設(樋下光社長)は6日、同市上米内の松園寺(佐々木仁海住職)で、坐禅を取り入れた新入社員の研修を実施した。今年度入社した3人は、心を静めながら、社会人として歩む決心を新たにしました。

建設部に新たに配属となった須藤ひなたさん、大坪花菜さん、附柳(つけやなぎ)拓郎さんが、佐々木住職から坐禅の基本の説明を受けた後、スマートフォンで電源を切り、靴下を脱いで坐禅に臨んだ。

坐禅用の蒲団の「坐蒲」に腰を降ろし、足を組むと、本堂に鐘の音が3回響き渡った。15分ほど経過し、佐々木住職が3人に語りかけた。「初めて坐禅を組むと、さまざまなか



初めての坐禅を行った樋下建設新入社員の附柳さん、大坪さん、須藤さん(左から)

ことと考えてしまつたのではないか。お釈迦様は、すべてのものに原因と結果があると説いた。仕事をやる上で、失敗も多々あるかもしれない。坐禅を組むと、失敗は小さなことと思えたり、その原因に気がつくこともできる」と穏やかに論じた。

同社では、1987年に松園寺を建立したことで、坐禅研修を取り入れている。坐禅を終え、須藤さんは「清められた気がした。将来は、後輩に頼られるような社員になつていきたい」と感想を述べた。

大坪さんは「初めてだったので、緊張感があつた。途中から気持ち

いた。こういう機会はなかなかない。いまは分からないことだらけなので、やれることを精いっぱいやりたい」と決意した。

同社の阿部充浩営業部長は「心を清める意味で実施している。明日からは建築・土木・工務の研修に入る。ゆくゆくは一人前の現場監督になって、会社を盛り上げてほしい」と新戦力に期待した。

接種へ概要を登

コロナ
ワクチン
高齢者
施設
入所者

八幡平市は6日、新型コロナウイルスワクチン接種の概要を発表した。接種開始は4月下旬予定。その後、5月中旬に一般の高齢者への接種

県内コロナ感染

新たに8人確認

盛岡では30代男性会社員

県と盛岡市保健所は6日、県内で新型コロナウイルス感染者8人を確認した。いずれも重症でないか無症状。県内の累計感染者数は713人となった。

盛岡市の30歳代会社員男性は3日に発症。5日に医療機関でPCR検査を受け、ウイルスが検出された。過去1月1、2日に勤務したのが、不特定多数との接触は確認されていない。濃厚接触はないという。過去の感染者との接触は見つかっていない。

奥州市の50歳代の公務員男性は、4日に発症し、5日のPCR検査でウイルスを検出。過去の感染者との接触は

103人が技術者への一歩

度な技術、豊かな想像力を身に付けてください。式では、新型コロナウイルス対策を講じた上で、人は式辞で、入学生に贈る言葉として「なぜ力を」「頭をフル回転させて大学生生活を2